

令和4年度

事務事業評価表（令和3年度の実績評価）

記入年月日  
令和4年4月8日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 財務会計上の位置付け, 事業期間, etc.

法令根拠 桜川市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例 桜川市消防団の運営に関する規程

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像), ②担当が行う業務の内容・やり方・手順

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図, and various performance indicators (e.g., 火災活動回数, 風水害発生件数) with target values for 02-06 years.

Table showing (3) 投入量 (事業費) の推移 with columns for 02-06 years and 期間限定総投入量, including 国庫支出金, 県支出金, etc.

Table showing 03年度事業費実績 (千円) and 04年度事業費予算 (千円) with categories like 08 旅費 and 01 報酬.

事務事業名	消防団火災出動・火災警戒出動事業	事務事業No.	30102000678	所属課	防災課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団は火災や風水害、その他の災害現場で生命、身体及び財産の救護に当たり、損害を最小限度にとどめて災害の防御及び鎮圧に努める責任を負っており、設置当初からこの活動を行っている。</li> <li>社会の就業形態が変化していく中で、消防団員の会社員の占める割合が増加しており、日中の火災及び災害時の出動人員の確保が困難になってきている。</li> </ul>					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
<ul style="list-style-type: none"> <li>消火活動を迅速に行えるよう、常備消防との連携を密にし、協力体制を強化して欲しいという意見がある。</li> </ul>					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <ul style="list-style-type: none"> <li>火災や災害発生時はまず第一に住民の命を守らなければならないので、消火活動や応急対策を実施することは安全で安心して暮らせる生活環境づくりに結びつく。</li> </ul>
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <ul style="list-style-type: none"> <li>消防団が常設消防と協力して火災や災害現場で対応することで、市民の安全と安心が守られるため市が行うことは妥当である。</li> </ul>
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <ul style="list-style-type: none"> <li>日中の出動人員の確保が困難になってきているため、機能別消防団員の確保や市役所職員の入団促進を検討し行っていくことで、日中の出動人員を確保し火災及び災害対応の効率化や迅速化が図れる。</li> </ul>
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 <ul style="list-style-type: none"> <li>常設消防だけでは活動に限界があるため、消防団の活動は欠かせないものである。</li> </ul>
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)
<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <ul style="list-style-type: none"> <li>常設消防と連携を密にすることにより、現場での対応能力が向上すると思われる。日頃の訓練においても常設消防と一緒に実施することでその効果が期待できる。</li> </ul>	
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <ul style="list-style-type: none"> <li>事業費は各種出動に伴う費用弁償であるのでその回数が減らない限り、削減の余地はない。</li> </ul>	
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である <ul style="list-style-type: none"> <li>市民の安全と安心を守るための事業であり、市が負担することは妥当である。市内における火災や災害の発生時には、地区や場所に関係なく活動を行うので、すべての市民が受益者であり特定の受益者はいない。</li> </ul>	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	日中の出動人員確保が課題となっており、機能別消防団員や市役所職員を確保することで対応していくことが考えられる。また、現場での対応能力向上のため、常設消防と共に訓練を行うことが市民の安全と安心を守るため必要である。																									
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		○	×																						
	低下		×	×																						
分団の適正規模を検討する必要がある。分団統合を実施し、1個分団の活動できる団員の層を厚くすることで、日中の出動人員確保ができると思われる。また、分団統合により消防車両が減るため、機能別分団等で、消防力を補う必要がある。		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B <ul style="list-style-type: none"> <li>A: 継続 (現状維持)</li> <li>B: 継続 (改革改善を行う)</li> <li>C: 終了、廃止、休止</li> <li>D: 2次評価へ提出</li> </ul>	確認欄 <input type="checkbox"/>